

H30春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

浜加積地区

提言等の項目	H30春に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①所有者不明の土地	昨年10月の台風で、墓地の樹木が倒れ、墓石が倒れたが、土地の所有者が不明で、町内会で倒れた木を撤去した。そのように、所有者が不明の土地や空き家はどのくらいあるのか市では把握しているのか。	市内の所有者が不明の土地について、市では具体的な件数までは把握していません。空き家については、現在市内に約750件あります。そのうち、倒壊しそうな建物については、市から所有者に対し取り壊しをお願いしています。それでも取り壊しが難しい場合は、所有者に代わり市が取り壊しを行う場合があります。
②土地の相続	相続されず、誰にも管理がされていない土地について、市では対策をとっているのか。	相続の問題については、国で検討が進められており、国の法整備を待ちたいと考えています。
③行政代執行	行政代執行で所有者に代わり市が空き家の取り壊しを行った場合、費用の請求は所有者に対し行うのか、それとも税金で賄うのか。	市では実例はありませんが、一般的に取り壊し費用は一時的に市が負担したうえで、所有者に支払いをしていただきます。
④海浜公園	海浜公園において、バーベキューを行っている人がいるが、市の許可を得ているかどうか確認する方法はあるのか。	海浜公園のバーベキュー施設を利用する際は、市へ利用届を提出していただき、その半券を許可証として利用者に渡しています。許可を得ているか確認しやすいように、公園内の柱などに張り付けることのできる許可証の導入も検討したいと思います。
⑤事業の見直し	市の平成30年度予算について、配布資料に「これまでの事業効果を適切に見極め、徹底した歳出の見直しを図った」との記載があるが、どういった見直しを行ったのか。また、実施しようと思ってできなかった事業はあるのか。	毎年、各課において所管事業の評価を行い、それらを基に事業の必要性や効果を精査しているところであり、その中で不必要な事業は廃止しています。前年度の決算額、過去の決算額の推移、毎月の変動を精査し、これまでの予算の執行が妥当かどうかを事業ごとに確認し、不用な歳出の抑制に努めています。 また、平成30年度当初予算に計上できなかった事業としては、東部小学校及び西部小学校の駐車場の整備があります。

H30春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

浜加積地区

提言等の項目	H30春に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑥第一坪川踏切	第一坪川踏切は、いつ改良されるのか。	第一坪川踏切については、国から実施の許可が出たため、今年度から鉄道事業者と、どのように踏切を改良すべきか調査を行う予定です。実施期間としては、平成30年度から5か年の整備を予定しています。また、踏切を含め、前後の道路の整備も実施したいと思っています。
⑦農道	高塚新町から滑川駅までの農道の幅が狭いので、広くすることはできないか。	農道については、市では直接管理をしていないため、滑川中部土地改良区に要望を伝えたいと思います。
⑧地区公民館の事務所	浜加積地区公民館の事務所はとても狭く、書類の整理ができない状態である。事務所の隣にスペースが空いているので、改築することはできないか。	公民館の実際のスペースや事務所の使用状況を確認し、別の部屋の活用も含め、検討させていただきたいと思います。
⑨コミュニティバス	コミュニティバスについて、市民にアンケート調査を行ったことだが、その調査結果を、今後どのように反映していくつもりなのか。	昨年、公共交通に係る計画を策定するための資料として、16歳以上の市民2,000人を無作為に抽出し、アンケート調査を行いました。その調査結果を基に、今年度から5年間の計画を策定し、より多くの方に公共交通機関を利用していただくため、回数券の導入等、様々な事業を検討、実施する予定です。
⑩医療費控除	確定申告の際の医療費控除に、医療保険者が発行した医療費の通知が領収書の代わりになると聞いて市役所に持参したが、「実際に支払った額が記載されていないので使用できない」と言われた。そういったことは、事前に告知してもらわなければ困る。国の施策が先行して、市の対応が追い付いていないこともあると思うが、困るのは市民であるため、対応をお願いしたい。	法令の改正により、確定申告の際の医療費控除の申請に、医療保険者が発行する「医療費控除の明細書」を使用することができるようになりました。確定申告の際は、事前のご案内も含め、丁寧な対応を心掛けたいと思います。なお、県内の市町村が運営する国民健康保険においては、平成30年1月分の明細書からの対応となっています。それ以前の明細書は、記載内容が税の医療費控除を受ける要件に満たないため、使用することができなかったものです。

H30春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

浜加積地区

提言等の項目	H30春に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑪道路拡幅	旧国道8号から浜加積保育園までの道路(市道北野高塚線)は、雪を捨てるために水路を残し、道路が拡幅できていないと聞いているが、現在は除雪機で除雪を行っているため、川を残しておく意味がないと思う。道路を広げることで安全に通行することができるため、水路を埋めて、道路を拡幅してほしい。	昨年、市道北野高塚線について、隣接する水路を活用して、道路を拡幅してほしいと要望があり、現地を確認しましたが、現在も水路には水が流れており、周辺の田畑で利用されていたので、水路を活用して道路を拡幅することはできませんでした。どのような方法があるか、改めて、関係者で現地を確認させていただきたいと思います。
⑫横断幕	児童・生徒が全国大会など大規模な大会への出場が決まると、市内各所に横断幕が掲示されているが、どういった基準で掲示されているのか。	基本的に、横断幕の作成・掲示について、市は関わっていません。過去に、オリンピック出場者の横断幕については、市で作成し、市庁舎に掲示したことがありますが、それ以外のものは各団体などが任意で掲示しています。
⑬広報	広報と一緒にチラシが届くが、右とじのものと左とじのものが混在していて、保管するときに困るので、どちらかに統一できないか。また、カレンダーについて、現在の日曜日からではなく、月曜日始まりにすることはできないか。	広報等のとじ方については、縦書きや横書きによって異なるため、すぐに統一することは難しいですが、ご提言については、カレンダーの曜日の件とあわせて、検討したいと思います。
⑭土曜授業	土曜授業の日程について、月によって変則的であるが、固定することはできないか。また、どのような理由で日程を決めているのか。	土曜授業の日程については、前年度末までに各学校と相談のうえ、各校の行事等を考慮して決定しています。今年度の日程については、各校によりばらつきがありますが、昨年度十分に協議した結果です。今後も、皆様のご理解が得られるよう、日程を調整していきたいと思ます。